

目黒の坂と庚申塔を巡る

<本日のコース>

JR目黒駅改札～行人坂～大圓寺の庚申塔～目黒雅叙園～五百羅漢寺庚申塔～成就院庚申塔～目黒不動尊～三折坂～金毘羅坂～大鳥神社境内の庚申塔～十七ヶ坂～十七ヶ坂上庚申塔～馬喰坂～馬喰坂上庚申塔～長泉院庚申塔～藤の庚申～なべころ坂～天祖神社庚申塔～けこぼ坂～目黒区役所～けこぼ坂庚申塔～東横線中目黒駅

<目黒川から淀橋台への坂>

①行人坂

坂標：Ⅰ 坂の途中、大圓寺の上方の並びに、目黒川架橋供養勢至菩薩石像が設置されている小堂の前に目黒区が設置したプレート形の標識がある。

「行人坂 ぎょうにんざか 寛永の頃、出羽（山形県）の湯殿山の行人が、このあたりに大日如来堂を建立し修行を始めました。次第に多くの行人が集まり住むようになったので、行人坂と呼ばれるようになったといわれています。平成11年11月 目黒区教育委員会」

Ⅱ 雅叙園が設置した立派な標識が、雅叙園の向かいにある。

「行人坂 行人坂の由来は大円寺にまつわるもので、1624（寛永年間）このあたりに巢食う、住民を苦しめている不良のやからを放逐する為に、徳川家は奥州（湯殿山）から高僧行人『大海法師』を勧請して、開山した。その後不良のやからを一掃した功で、「大円寺」の寺号を与えられた。当時この寺に『行人』が多く住んでいた為、いつとはなしに江戸市中に通じるこの坂道は行人坂と呼ばれるようになった。ホテル雅叙園東京」

別称：なし。

道名：昔は、二子道といわれた。「この坂は、江戸時代に権之助坂が開かれる前は、二子道として、江戸市中から目黒筋に通じる大切な道路であった。いまは、権之助坂の方が広くてにぎやかだが… 目黒区HP」

<目黒川から目黒台への坂>

②三折坂

坂標：坂下に、目黒区が設置した標識がある。

「三折坂 みおりざか MIORI-ZAKA 三つに折れ曲った形状から 三折坂とよばれるようになった。また、目黒不動への参詣者が、この坂を降りていくので、「御降(みおり)坂」とよんだともいわれる。平成十九年三月 目黒区教育委員会」

別称：御降(みおり)坂。

道名：なし。坂下の西に向かう道は、昔の、目黒道であった。

③金毘羅坂

坂標：坂下の大鳥神社前に東京都が設置した標識がある。

「金毘羅坂 こんびらざか 坂の西側に 金毘羅権現社（高徳寺）があったので、坂の名がついたといわれる。金毘羅権現社は、江戸名所図会の挿絵に その壮観がしのばれるが、明治の初めに廃寺となった。坂の東側には、明治四十年に 目黒競馬場ができ、昭和八年に 府中に移転するまで、この坂は 競馬場にゆきかよう人びとでにぎわった。昭和五十八年三月 東京都」

別称：なし。

道名：目黒通り。

④十七が坂

坂標：現在 坂上付近に、目黒区が設置した標識がある。

「十七が坂 じゅうしちがざか 「十七」とは若者をさし、元気な若者たちは回り道をせずに、この急坂を利用したことから名が付いたという説や、坂の途中にある板碑型庚申塔に十七人の名が刻まれていることに関連するという説など、由来についてはいくつか説がある。 令和三年三月 目黒区教育委員会」

以前 坂上付近の同じ場所に、目黒区が設置した標識があった。

「十七が坂 じゅうしちがざか この坂のあたりに 戸数十七軒からなった集落があったので、十七が坂 とよぶようになったといわれる。また、この坂ですべてころぶと、十七才になった時、災いが起こるといふ言い伝えがあった。 昭和五十八年三月 目黒区教育委員会」

別称：なし。

道名：昔は、庚申道。道沿いに多くの庚申塔がある。

⑤馬喰坂

坂標：現在 坂上付近の同じ場所に、目黒区が設置した標識があった。

「馬喰坂 BAKURO-ZAKA 馬の鑑定や売買を行う馬喰（博労・伯楽）と関連させる説と、風雨にさらされて地面に穴のあいた状態を目黒の古い方言で「ばくろ」といったという説がある。 平成二十二年三月 目黒区教育委員会」

以前 坂上近くの目黒ヒルズ前に、目黒区が設置した標識がある。

「馬喰坂 BAKURO-ZAKA 目黒の古い方言で、風雨にさらされ地面に穴のあいた状態を「ばくろ」といった。この坂にはこの「ばくろ」が多かったので、ばくろ坂とよぶようになったといわれる。馬喰とはあて字であろう。 平成九年十二月 目黒区教育委員会」

別称：なし。

道名：新寺道？

⑥なべころ坂

坂標：坂途中の中目黒アーバンハイツ入口前に、目黒区が設置した標識がある。

「なべころ坂 昔は鍋がころがるほどの急坂であったので、なべころ坂とよぶようになったといわれる。また、道に粘土が露出した状態を、方言で「なべころ」といったことから、坂名になったともいわれる。 平成七年七月 目黒区教育委員会」

別称：なべごろ坂。（目黒区HPより）

道名：なし。

⑦けこぼ坂

坂標：坂上近くの目黒区役所前に、東京都が設置した半楕円形の金属製標識がある。

「けこぼ坂 この道は昔の祐天寺道で、祐天寺を経て碑文谷裏に続く目黒の主要道路であった。かつて、このあたりは急坂であったため、斜面を切り開く切り通しの工事が何回となく繰り返された。その結果、道の両側の土手はますます高くなり、風雨にさらされた土手からは、赤土のかたまりが ざらざらこぼれ落ちた。この状態を目黒の古い方言で“けこぼ”といい、土地の人々は、この坂を“けこぼ坂”と呼んでいた。 東京都」

別称：けころ坂。（「けころ」は蹴転ばし、の略語で、江戸天明末期ごろまであった水茶屋の私娼の名称である。坂下の正覚寺の門前に水茶屋があったのがけころ坂の起こりになった。石川悌二説）

道名：駒沢通り。古くは、祐天寺道であった。

<本日の庚申塔>

a 大圓寺庚申塔

大圓寺庚申塔は、**3基**ある。門外にあった1基を含めて、現在は、他の石像群と同様に、3基きれいに並べられている。大圓寺には、多くのエピソードがあり、境内には、所狭しと文化財が設置されている。

b 五百羅漢寺庚申塔

五百羅漢寺庚申塔は、**1基**ある。入口受付の反対側に、屋根の下の手水槽の隣に設置されている。

c 成就院庚申塔

成就院庚申塔は、**1基**ある。他の石像と並べて設置されている。成就院は、別名、蛸薬師という。本尊の薬師如来を3匹の蛸が支えているとのこと。また、お静地藏尊でも有名な寺院である。

d 大鳥神社境内の庚申塔

大鳥神社境内の庚申塔は、**4基**ある。神楽塚などの石塔4基と並べて設置されている。境内左手奥に設置されている。目黒区の説明板はない。

e 十七が坂上庚申塔

十七が坂上庚申塔は、**2基**ある。高さ2メートルの宝篋印塔型の庚申塔が1基、その前に板碑型のものが1基で、柵で囲まれた一角に、他の石碑と一緒に設置されている。

f 馬喰坂上庚申塔

馬喰坂上庚申塔は、**4基**ある。馬喰坂上と庚申道の交差点の角のブロック塀に設置されている。

g 長泉院庚申塔

長泉院庚申塔は、**1基**ある。寺の外壁の隅、現代彫刻美術館の入口そばに設置されている。

h 藤の庚申塔

藤棚の下の小堂に**2基**ある。花や水が供されている。小堂の前の道は、馬喰坂上庚申塔群や十七が坂上庚申塔に続いており、多数の庚申塔があるので、庚申道と呼ばれている。この庚申塔は、なべころ坂緑地公園の角にあり、その反対側の先に、なべころ坂の坂上がある。この庚申道は尾根筋である。

i 天祖神社坂庚申塔

天祖神社庚申塔は、天祖神社境内の小堂内に**2基**ある。花台や線香台、水盤が供されている。

j けこぼ坂庚申塔

けこぼ坂庚申塔は、**1基**ある。大谷石の立派な囲いに守られていて、花や線香台が供されている。目黒区の説明板はない。

<本日のまとめ>

目黒区の坂：7坂

行人坂 三折坂 金比羅坂 十七が坂 馬喰坂 なべころ坂 けこぼ坂

目黒区の庚申塔：10箇所 21基

大圓寺庚申塔 五百羅漢寺庚申塔 成就院庚申塔 大鳥神社境内の庚申塔

十七が坂庚申塔 馬喰坂上庚申塔 長寿院庚申塔 藤の庚申塔 天祖神社庚申塔 けこぼ坂庚申